

〈発行〉二所ノ関部屋後援会

〈発行〉〒273-0037

千葉県船橋市古作4-13-1

〈協力〉スポーツニッポン新聞社

第77号

二所ノ関部屋ニュース

親方ラーストイヤー黒ヒヨウ軍団一丸

幕下上位の一山本と中園が11月場所でも5勝をマーク。1月場所(2021年1月10日初日、東京・両国国技館)で十両復帰と新十両

1月10日初日1月場所
昇進を目指す。今年は22年1月に相撲協会定年を迎える師匠、二所ノ関親方(元大関・若嶋津の「ラストイヤー」)。部屋頭の松鳳山ら11人の弟子たちはさらなる精進を誓った。

定年まであと1年…最高の恩返しを!!



中園躍動の20年!!
全5場所勝ち越し

新型コロナウイルスの影響で激動の1年となった2020年。納めの場所でも若力が躍動した。中園と一山本がともに奮起。幕下上位の土俵を沸かせる活躍を見せた。

部屋史上7人目関取へ

中園は9月場所で5勝をマークし、自己最高位(幕下8枚目)に近い東9枚目で迎えた11月場所でも5勝を挙げた。2020年は全5場所勝ち越し。19年九州から6場所連続での給金を直している。「内容的に力をつけ再び上昇気流に乗

を迎える。残り6場所、それまでに弟子としては7人目の関取昇進を果たすことが最大の恩返しにもなる。「(来年中に)上がります」と力強く宣言した。

復帰のチャンスだ
一山本「切磋琢磨」

中園と同じく11月場所でも5勝を挙げた一山本も十両復帰のチャンスを迎えた。以前はモロ手付きからの攻めが目立っていたが、11月場所では組んで2勝するなど取り口にも幅が出てきた。19年秋場所の取り組み中に左足を痛め途中休場。

山本&中園 幕下昇進で

幕開けだ



新年明けましておめでと
うございます。昨年は日本
だけではなく世界じゅうで
新型コロナウイルスの猛威
にさらされ、未曾有の事態
に直面しました。相撲界も
春場所が無観客開催とな
り、5月場所は中止。その
後、限定的に観客を入れて
場所が開催されていますが、
7月の名古屋と11月の
九州は両国での代替となり
ました。年に一度の地方場
所を楽しみにしていたファ
ンの思いを考えると協会の一
員として申し訳ない気持
ちでいっぱいです。

それでも力士たちは「特
別」な環境の中で日頃の鍛
錬の成果を発揮すべく奮闘
しています。2021年も
先行き不透明な状況ではあ
りますが、熱気が充満する
館内で力士の激しい攻防が
繰り広げられる本来の国技
の姿を戻すことを信じてい
ます。

私も部屋を構えて31年。
来年1月に65歳を迎えま
す。残された時間は多くあ
りませんが、お世話になっ
た相撲界のために少しでも
尽力できるよう精進してま
いります。昨年は自己最高
位を更新する力士が多かつ
たと思います。力士、スタ
ッフ一同全力で乗り切って
行く所存です。2021年
もご指導、ご鞭撻のほどよ
ろしく願います。

二所ノ関 六男



親方&おかみ
祝35周年
1985年9月27日
←
2020年9月27日

9月場所千秋楽後サプライズ
〇…9月場所の千秋楽が行
われた9月27日、打ち上げの
席でサプライズの演出があっ
た。師匠夫妻の結婚35周年を
祝して、家族や力士らがお祝
いを催した。当時大関だった
師匠と人気歌手だったみずえ
さんは1985年9月27日に都内
のホテルで結婚式を挙げた
が、同じ日が千秋楽と重なっ
た。用意されたケーキのろう
そくを2人で消すと拍手が沸
き上がった。末永くお幸せに。



松 鳳 山

9月 西前15★5-10
11月 西十2★6-9
場所前の稽古は良かったが本場所ダメだった。師匠のためにまだまだ頑張らないと



一 山 本

9月 西下13☆4-3
11月 西下8☆5-2
ケガの方はもう大丈夫。順調にきている。十両復帰を果たし部屋を盛り上げていきたい



中 園

9月 西下18☆5-2
11月 東下9☆5-2
2020年は全場所勝ち越せたのは良かった。(来年こそ)十両昇進のチャンスものにしたい



若ノ藤

9月 東三24★3-4
11月 東三41★3-4
後半は目の2度の手術で思うような稽古ができなかった。ケガのない一年を送りたい



若 錦 翔

9月 西三20★2-5
11月 東三50☆5-2
11月場所であと1番で幕下昇進だったが決められなかったのが悔しい。21年こそ幕下へ



中 石

9月 東二5☆5-2
11月 東三70☆4-3
最高位も更新できていい一年だった。(さらなる更新へ)左に重心が傾く癖を直したい



今 福

9月 東三80★3-4
11月 東三98☆6-1
トレーニングで下半身を鍛えて成績ももってきた。幕下を目指して精進していきたい



若 山 中

9月 西三95★2-5
11月 東二22☆5-2
2020年は満足のいく結果が残せなかった。(今年)三段目に定着できるように精進あるのみ



石 原

9月 西二75★3-4
11月 東二97☆5-2
腰の状態は変わらずです。しっかりとケアをして、師匠のために1番でも多く勝ちたい



若 一 輝

9月 西二80☆4-3
11月 東二50★2-5
最高位も更新できた1年だったが、まだまだ頑張らないと。三段目を目指し頑張りたい



有 川

9月 東二46★全休
11月 西序6☆5-2
首のケガで9月を全休した。(21年は)1年間ケガをしないようにケアをしっかりしたい



炎 鵬 (下) を 押し 倒 して 下 す 松 鳳 山
巻 き 返 し へ 全 集 中



2月で37歳松鳳山「幕内で迎えたかった」

2月で37歳。現役では最年長の松鳳山は「やっぱり、幕内で迎えたかった」と残念そうに話した。2020年を振り返り「最悪の一年だった。内容ももうひとつだったし、本場所に入ると何か気持ちが乗らないことが多い」という。コロナ禍で「特別」な環境が続く中で自らを鼓舞したが現実には厳しいものだった。9月場所

5勝10敗と負け越し、11月は十両に陥落。序盤から苦しい土俵が続いたものの、終盤は負けて6勝9敗と負け越し3点にとどめた。「3月場所から違和感を覚え相撲はおかし

くなった。何か気持ちが乗らなかった」師匠は22年1月に定年を迎える。「全然恩返しできていない。まだまだ体は元気。もうひと頑張りします」と部屋頭としての責任感をのぞかせた。

師匠	年寄	年寄	年寄	行司	行司	床山	呼び出し	呼び出し	床山	マネージャー	
二所ノ関六男	淺川	松ヶ根	坂放	駒司	武守錦太夫	武守慎之助	床平	松男	悟	床山	青葉恭孝
日高 六男	南 忠晃	安本 米来	岡部 新	押田 裕光	水谷 洋二	平島 和之	美根 禎弘	朝倉 悟	松原 弘一	青葉 恭孝	
1957年1月12日	1956年10月29日	1974年4月19日	1977年9月15日	1973年4月29日	1976年7月31日	1958年5月26日	1976年4月3日	1977年6月17日	1969年8月25日	1963年10月16日	
鹿児島県熊毛郡	福井県大野市	東京都江戸川区	福島県西白河郡	千葉県柏市	鹿児島県	東京都江東区	埼玉県さいたま市	静岡県湖西市	愛知県豊田市	愛媛県吉海町	